

陳 情 文 書 表

(都市計画局)

受 理 番 号	2 7 0 4	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 2 1 日
件 名	北山文化・交流拠点地区構想の見直し等		
要 旨	<p>京都市都市計画マスタープランにおける標記の第17項は、京都府策定の北山エリア整備計画と同じようなイメージ図と計画内容である。京都府の計画は、老朽化した体育館に代わって府立大学構内に1万人収容規模の巨大商業アリーナを建設し、府立植物園にアリーナへの通路と商業施設を設けて、静かな文教地区をにぎわいと利益を作る地域に変える目的であり、とりわけアリーナは三大学共用体育施設をうたいながら音楽イベントやプロスポーツを招致することが主目的になっているようである。</p> <p>そこでこの間、私たち府立大学関係者は府立植物園を守る地域住民の取組に連帯しながら、大学内に巨大商業アリーナはいらない、府立大生の要望に沿った体育館を建ててほしいと訴えて電子署名に取り組み、既に5,700筆を超える賛同を得ている。府立大学の長所は全国有数のロケーションと緑であり、学生・卒業生はそれに憧れて進学して多くを学び、教員はすばらしい環境の中で教育・研究に励んできた。</p> <p>しかし、このアリーナが建設されれば、多くの観客が学内や植物園を通行し、多くの車が学内を出入りするだろう。その結果、学内の静かで落ち着いた環境は破壊され、治安の悪化が憂慮され、体育の授業や学生のクラブ活動にも影響が及ぶことは必至で、また、近隣住民の住環境にも重大な影響が生ずるだろう。</p> <p>ついでには、私たち府立大学関係者はこのような憂慮すべき状況に鑑みて、以下の点を願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市策定の北山文化・交流拠点地区構想を見直すとともに、京都府策定の北山エリア整備基本計画を見直すよう京都府に進言すること。特に、1万人収容規模の巨大商業アリーナは静かな文教地区に不適切であり、大学の教学施設としてふさわしい体育館とするよう進言すること。 2 京都市は市作成の都市計画制限のあらましや京の景観ガイドライン等に基づき、北山エリアの環境にふさわしい高さや用途等の制限を、京都府の計画に対して厳格に適用すること。 3 京都市は京都府と共に府立大学関係者に対して正確な情報を提供するとともに、本計画に関する説明会を開催して、学生・教職員の意見や要望を聞くこと。 		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		